認定倫理審査委員会承認日：2026 年 9 月 30 日

利益相反の開示

一般社団法人ＪＢＣＲＧ

研究課題名	JBCRG-M10（INDUCE trial）「PD-L1 陽性転移再発トリプルネガティブ乳癌に対するパクリタキセル+ベバシズマブ導入療法後アテゾリズマブ+ナブパクリタキセル療法の効果を評価するランダム化第 II 相試験」

本研究で用いる医薬品等の製造販売業者等について開示すべき利益相反がある研究者を、下記のとおり開示します。

なお、これは名古屋大学臨床研究審査委員会により承認された各研究者の申告内容を、求められた要件にしたがってそのまま掲載するものです。

別紙 1（利益相反事項）

研究名称： PD-L1 陽性転移再発トリプルネガティブ乳癌に対するパクリタキセル+ベバシズマブ導入療法後アテゾリズマブ+ナブパクリタキセル療法の効果を評価するランダム化第 II 相試験（JBCRG-M10, CMA-0196）（INDUCE trial）

研究代表医師：がん研究会有明病院　乳腺内科　尾崎 由記範

対象医薬品等の製造販売業者と実施医療機関の研究責任医師・研究分担医師との開示すべき COI

中外製薬株式会社との COI について		
	実施医療機関名	人数
1	大阪大学医学部附属病院	1
2	東京科学大学病院	1

第一三共株式会社との COI について		
	実施医療機関名	人数
1	がん研究会有明病院	2
2	昭和医科大学病院	2
3	大阪大学医学部附属病院	1

ファイザー株式会社との COI について		
	実施医療機関名	人数
1	がん研究会有明病院	1
2	大阪大学医学部附属病院	1
3	東京科学大学病院	1
4	東京都立駒込病院	1

2026 年 9 月 6 日時点

認定倫理審査委員会承認日：2026 年 6 月 24 日

利益相反の開示

一般社団法人ＪＢＣＲＧ

研究課題名	JBCRG-M10（INDUCE trial）「PD-L1 陽性転移再発トリプルネガティブ乳癌に対するパクリタキセル+ベバシズマブ導入療法後アテゾリズマブ+ナブパクリタキセル療法の効果を評価するランダム化第 II 相試験」

本研究で用いる医薬品等の製造販売業者等について開示すべき利益相反がある研究者を、下記のとおり開示します。

なお、これは名古屋大学臨床研究審査委員会により承認された各研究者の申告内容を、求められた要件にしたがってそのまま掲載するものです。

別紙 1（利益相反事項）

研究名称： PD-L1 陽性転移再発トリプルネガティブ乳癌に対するパクリタキセル+ベバシズマブ導入療法後アテゾリズマブ+ナブパクリタキセル療法の効果を評価するランダム化第 II 相試験（JBCRG-M10, CMA-0196）（INDUCE trial）

研究代表医師：がん研究会有明病院　乳腺内科　尾崎 由記範

対象医薬品等の製造販売業者と実施医療機関の研究責任医師・研究分担医師との開示すべき COI

中外製薬株式会社との COI について		
	実施医療機関名	人数
1	大阪大学医学部附属病院	1
2	神奈川県立がんセンター	1
3	三重大学医学部附属病院	1
4	東京科学大学病院	1

第一三共株式会社との COI について		
	実施医療機関名	人数
1	がん研究会有明病院	2
2	昭和医科大学病院	2
3	福山市民病院	1
4	大阪大学医学部附属病院	1
5	三重大学医学部附属病院	1

ファイザー株式会社との COI について		
	実施医療機関名	人数
1	がん研究会有明病院	1
2	川崎医科大学附属病院	1
3	大阪大学医学部附属病院	1
4	神奈川県立がんセンター	1
5	愛知県がんセンター	1
6	東京科学大学病院	1
7	帝京大学医学部附属病院	1
8	東京都立駒込病院	1

2026 年 4 月 30 日時点

認定倫理審査委員会承認日：2025 年 8 月 27 日

利益相反の開示

一般社団法人ＪＢＣＲＧ

研究課題名	JBCRG-M10（INDUCE trial）「PD-L1 陽性転移再発トリプルネガティブ乳癌に対するパクリタキセル+ベバシズマブ導入療法後アテゾリズマブ+ナブパクリタキセル療法の効果を評価するランダム化第 II 相試験」

本研究で用いる医薬品等の製造販売業者等について開示すべき利益相反がある研究者を、下記のとおり開示します。

なお、これは名古屋大学臨床研究審査委員会により承認された各研究者の申告内容を、求められた要件にしたがってそのまま掲載するものです。

別紙 1（利益相反事項）

研究名称： PD-L1 陽性転移再発トリプルネガティブ乳癌に対するパクリタキセル+ベバシズマブ導入療法後アテゾリズマブ+ナブパクリタキセル療法の効果を評価するランダム化第 II 相試験（JBCRG-M10, CMA-0196）（INDUCE trial）

研究代表医師：がん研究会有明病院　乳腺内科　尾崎 由記範

対象医薬品等の製造販売業者と実施医療機関の研究責任医師・研究分担医師との開示すべき COI

中外製薬株式会社との COI について		
	実施医療機関名	人数
1	大阪大学医学部附属病院	1
2	近畿大学病院	1
3	神奈川県立がんセンター	1
4	三重大学医学部附属病院	1

第一三共株式会社との COI について		
	実施医療機関名	人数
1	がん研究会有明病院	2
2	昭和医科大学病院	1
3	福山市民病院	1
4	神奈川県立がんセンター	2

ファイザー株式会社との COI について		
	実施医療機関名	人数
1	がん研究会有明病院	1
2	川崎医科大学附属病院	1
3	大阪大学医学部附属病院	1
4	神奈川県立がんセンター	1
5	愛知県がんセンター	1
6	東京科学大学病院	1

2025 年 8 月 5 日時点

認定倫理審査委員会承認日：2025 年 7 月 23 日

利益相反の開示

一般社団法人ＪＢＣＲＧ

研究課題名	JBCRG-M10（INDUCE trial）「PD-L1 陽性転移再発トリプルネガティブ乳癌に対するパクリタキセル+ベバシズマブ導入療法後アテゾリズマブ+ナブパクリタキセル療法の効果を評価するランダム化第 II 相試験」

本研究で用いる医薬品等の製造販売業者等について開示すべき利益相反がある研究者を、下記のとおり開示します。

なお、これは名古屋大学臨床研究審査委員会により承認された各研究者の申告内容を、求められた要件にしたがってそのまま掲載するものです。

別紙 1（利益相反事項）

研究名称： PD-L1 陽性転移再発トリプルネガティブ乳癌に対するパクリタキセル+ベバシズマブ導入療法後アテゾリズマブ+ナブパクリタキセル療法の効果を評価するランダム化第 II 相試験（JBCRG-M10, CMA-0196）（INDUCE trial）

研究代表医師：がん研究会有明病院　乳腺内科　尾崎 由記範

対象医薬品等の製造販売業者と実施医療機関の研究責任医師・研究分担医師との開示すべき COI

中外製薬株式会社との COI について		
	実施医療機関名	人数
1	大阪大学医学部附属病院	1
2	近畿大学病院	1
3	神奈川県立がんセンター	1

第一三共株式会社との COI について		
	実施医療機関名	人数
1	がん研究会有明病院	2
2	昭和医科大学病院	1
3	福山市民病院	1
4	神奈川県立がんセンター	2

ファイザー株式会社との COI について		
	実施医療機関名	人数
1	がん研究会有明病院	1
2	川崎医科大学附属病院	1
3	大阪大学医学部附属病院	1
4	神奈川県立がんセンター	1
5	愛知県がんセンター	1
6	東京科学大学病院	1

2025 年 7 月 9 日時点

認定倫理審査委員会承認日：2025 年 4 月 30 日

利益相反の開示

一般社団法人ＪＢＣＲＧ

研究課題名	JBCRG-M10（INDUCE trial）「PD-L1 陽性転移再発トリプルネガティブ乳癌に対するパクリタキセル+ベバシズマブ導入療法後アテゾリズマブ+ナブパクリタキセル療法の効果を評価するランダム化第 II 相試験」

本研究で用いる医薬品等の製造販売業者等について開示すべき利益相反がある研究者を、下記のとおり開示します。

なお、これは名古屋大学臨床研究審査委員会により承認された各研究者の申告内容を、求められた要件にしたがってそのまま掲載するものです。

別紙 1（利益相反事項）

研究名称： PD-L1 陽性転移再発トリプルネガティブ乳癌に対するパクリタキセル+ベバシズマブ導入療法後アテゾリズマブ+ナブパクリタキセル療法の効果を評価するランダム化第 II 相試験（JBCRG-M10, CMA-0196）（INDUCE trial）

研究代表医師：がん研究会有明病院　乳腺内科　尾崎 由記範

対象医薬品等の製造販売業者と実施医療機関の研究責任医師・研究分担医師との開示すべき COI

中外製薬株式会社との COI について		
	実施医療機関名	人数
1	名古屋大学医学部附属病院	1
2	大阪大学医学部附属病院	1
3	近畿大学病院	2
4	公立大学法人福島県立医科大学附属病院	1

第一三共株式会社との COI について		
	実施医療機関名	人数
1	がん研究会有明病院	2
2	昭和大学病院	1
3	独立行政法人国立病院機構九州がんセンター	1
4	筑波大学附属病院	1
5	福山市民病院	1
6	神奈川県立がんセンター	2

ファイザー株式会社との COI について		
	実施医療機関名	人数
1	がん研究会有明病院	1
2	名古屋大学医学部附属病院	1
3	川崎医科大学附属病院	2
4	昭和大学病院	1
5	大阪大学医学部附属病院	1
6	地方独立行政法人　東京都立病院機構　東京都立駒込病院	1
7	神奈川県立がんセンター	1
8	愛知県がんセンター	1

2025 年 3 月 4 日時点

認定倫理審査委員会承認日：2024 年 12 月 25 日

利益相反の開示

一般社団法人ＪＢＣＲＧ

研究課題名	JBCRG-M10（INDUCE trial）「PD-L1 陽性転移再発トリプルネガティブ乳癌に対するパクリタキセル+ベバシズマブ導入療法後アテゾリズマブ+ナブパクリタキセル療法の効果を評価するランダム化第 II 相試験」

本研究で用いる医薬品等の製造販売業者等について開示すべき利益相反がある研究者を、下記のとおり開示します。

なお、これは名古屋大学臨床研究審査委員会により承認された各研究者の申告内容を、求められた要件にしたがってそのまま掲載するものです。

別紙 1（利益相反事項）

研究名称： PD-L1 陽性転移再発トリプルネガティブ乳癌に対するパクリタキセル+ベバシズマブ導入療法後アテゾリズマブ+ナブパクリタキセル療法の効果を評価するランダム化第 II 相試験（JBCRG-M10, CMA-0196）（INDUCE trial）

研究代表医師：がん研究会有明病院　乳腺内科　尾崎 由記範

対象医薬品等の製造販売業者と実施医療機関の研究責任医師・研究分担医師との開示すべき COI

中外製薬株式会社との COI について		
	実施医療機関名	人数
1	名古屋大学医学部附属病院	1
2	大阪大学医学部附属病院	2
3	近畿大学病院	1
4	公立大学法人福島県立医科大学附属病院	1

第一三共株式会社との COI について		
	実施医療機関名	人数
1	がん研究会有明病院	2
2	昭和大学病院	1
3	独立行政法人国立病院機構九州がんセンター	1
4	筑波大学附属病院	1
5	福山市民病院	1
6	神奈川県立がんセンター	2

ファイザー株式会社との COI について		
	実施医療機関名	人数
1	がん研究会有明病院	1
2	名古屋大学医学部附属病院	1
3	川崎医科大学附属病院	2
4	昭和大学病院	1
5	大阪大学医学部附属病院	2
6	地方独立行政法人　東京都立病院機構　東京都立駒込病院	1
7	神奈川県立がんセンター	1

2024 年 11 月 21 日時点

認定倫理審査委員会承認日：2024 年 7 月 24 日

利益相反の開示

一般社団法人ＪＢＣＲＧ

研究課題名	JBCRG-M10（INDUCE trial）「PD-L1 陽性転移再発トリプルネガティブ乳癌に対するパクリタキセル+ベバシズマブ導入療法後アテゾリズマブ+ナブパクリタキセル療法の効果を評価するランダム化第 II 相試験」

本研究で用いる医薬品等の製造販売業者等について開示すべき利益相反がある研究者を、下記のとおり開示します。

なお、これは名古屋大学臨床研究審査委員会により承認された各研究者の申告内容を、求められた要件にしたがってそのまま掲載するものです。

別紙 1（利益相反事項）

研究名称： PD-L1 陽性転移再発トリプルネガティブ乳癌に対するパクリタキセル+ベバシズマブ導入療法後アテゾリズマブ+ナブパクリタキセル療法の効果を評価するランダム化第 II 相試験（JBCRG-M10, CMA-0196）（INDUCE trial）

研究代表医師：がん研究会有明病院　乳腺内科　尾崎 由記範

対象医薬品等の製造販売業者と実施医療機関の研究責任医師・研究分担医師との開示すべき COI

中外製薬株式会社との COI について		
	実施医療機関名	人数
1	名古屋大学医学部附属病院	1
2	大阪大学医学部附属病院	2
3	近畿大学病院	1
4	公立大学法人福島県立医科大学附属病院	1

第一三共株式会社との COI について		
	実施医療機関名	人数
1	がん研究会有明病院	3
2	大阪国際がんセンター	1
3	昭和大学病院	1
4	独立行政法人国立病院機構九州がんセンター	1
5	筑波大学附属病院	1
6	福山市民病院	1

ファイザー株式会社との COI について		
	実施医療機関名	人数
1	がん研究会有明病院	1
2	名古屋大学医学部附属病院	1
3	川崎医科大学附属病院	2
4	昭和大学病院	1
5	大阪大学医学部附属病院	2
6	地方独立行政法人　東京都立病院機構　東京都立駒込病院	1

2024 年 6 月 19 日時点

認定倫理審査委員会承認日：2024 年 4 月 12 日

利益相反の開示

一般社団法人ＪＢＣＲＧ

研究課題名	JBCRG-M10（INDUCE trial）「PD-L1 陽性転移再発トリプルネガティブ乳癌に対するパクリタキセル+ベバシズマブ導入療法後アテゾリズマブ+ナブパクリタキセル療法の効果を評価するランダム化第 II 相試験」

本研究で用いる医薬品等の製造販売業者等について開示すべき利益相反がある研究者を、下記のとおり開示します。

なお、これは名古屋大学臨床研究審査委員会により承認された各研究者の申告内容を、求められた要件にしたがってそのまま掲載するものです。

別紙 1（利益相反事項）

研究名称： PD-L1 陽性転移再発トリプルネガティブ乳癌に対するパクリタキセル+ベバシズマブ導入療法後アテゾリズマブ+ナブパクリタキセル療法の効果を評価するランダム化第 II 相試験（JBCRG-M10, CMA-0196）（INDUCE trial）

研究代表医師：がん研究会有明病院　乳腺内科　尾崎 由記範

対象医薬品等の製造販売業者と実施医療機関の研究責任医師・研究分担医師との開示すべき COI

中外製薬株式会社との COI について		
	実施医療機関名	人数
1	名古屋大学医学部附属病院	1
2	大阪大学医学部附属病院	2

第一三共株式会社との COI について		
	実施医療機関名	人数
1	がん研究会有明病院	3
2	大阪国際がんセンター	1
3	昭和大学病院	1

ファイザー株式会社との COI について		
	実施医療機関名	人数
1	がん研究会有明病院	1
2	名古屋大学医学部附属病院	1
3	川崎医科大学附属病院	2
4	昭和大学病院	1
5	大阪大学医学部附属病院	2